

葬儀支援サービスのお知らせ

日野自動車福祉共済基金から「葬儀支援サービス」のご案内です。

(株)全国儀式サービスと契約し、葬儀に関するサービスを提供しています。

詳細は次ページをご覧ください。

[※ホームページからも情報を確認できます。](#)

【お問い合わせ先】日野自動車福祉共済基金 fukushikyosai@hfkk.hino.co.jp

[日野自動車福祉共済基金ホームページ](#)



日野自動車福祉共済基金の 葬儀支援サービス

家族葬、一般葬、社葬や宗教・宗派問わず、各地域のしきたりに合わせたご葬儀のご相談承ります

制度運営 全国儀式サービス

ポイント

1

葬儀費用の負担を軽減

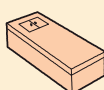
一般的な葬儀に必要な品目（祭壇、お棺など）を「基本セット」として
全国平均40万円相当のものを低廉な価格でご提供いたします。

●ご提供される基本セットの内容

●祭壇



●お棺



桐上級棺

●寝台車



車庫から10kmまで

●内、外装飾用品

●お位牌(白木)

●枕飾り

●会葬礼状(100枚)

●ご遺影(白黒) など

※式場使用料、会葬返礼品や飲食・料理などの接待費、寺院関係費、火葬料等は基本セットに含まれておりませんので、別途費用がかかります。

※葬儀社や地域によって、基本セットの内容が異なるケースがございます。

●対象者と基本セットご利用料金

※本人がご健在であれば何度でも使えます。

対象者 (ご葬儀の対象となる故人さま)

基本セットご利用料金

●会員本人、会員本人の配偶者 及び 扶養義務のある子女

無料

●(会員本人 又は 会員本人の配偶者) の両親

18万円 (税込19.8万円)

●(会員本人 又は 会員本人の配偶者) の祖父母 ●会員本人の扶養義務のない子女

24万円 (税込26.4万円)

●(会員本人 又は 会員本人の配偶者) の兄弟姉妹、おじ、おば、孫

ポイント

2

葬儀に関する不安を軽減

24時間365日、お電話1本で葬儀をご手配。

相談無料

●全国儀式サービスコールセンター 24時間・365日対応

ヨ ニ イ ー シ ャ ム

フリーコール **0120-421-493**

まず始めに、「日野自動車福祉共済基金」とお伝えください。

ご利用の際は事前に左記の電話番号へご連絡ください。
葬儀社とのお打合せ後のご連絡ではご利用になれません。



●制度の詳細は、全国儀式サービスのホームページをご覧ください。ユーザー名: gishiki パスワード: 1_top_msg HP

家族のための 生前整理・遺品整理

ご家族に代わって、お部屋の片づけのお手伝い。

思い出の品の整理からお部屋の清掃まで、
真心こめて対応いたします。



POINT

1

NHK「プロフェッショナル」に取り上げられた遺品整理専門会社メモリーズ代表の横尾をリーダーに、全国儀式サービスが、本当に信頼のおける遺品整理専門の会社を厳選しました。

POINT

2

安心の全国対応

電話1本でお近くの専門会社をご紹介します
※一部対応できないエリアがございます。



家族のための 相続手続

相続手続には10か月という期限があります。(相続税課税時)
不動産・預貯金などの名義変更はお任せください。

全国儀式サービスはNCPと
ご相続手続きに関する
業務委託契約をしております。

エヌ・シー・ピー
NCP 相続センター



家族のための 不動産売却

「マンション」「空き家」「ワケアリ物件」などの不動産売却で
お困りの方はご相談ください。

全国儀式サービスは
株式会社マークス不動産と不動産売却に
関する業務委託契約をしております。

株式会社
マークス不動産



遺品整理・相続・不動産売却のご相談はこちら **相談無料**

24時間・
年中無休



全国儀式サービスコールセンター

0120-204-122



全国儀式サービス
公式キャラクター
「しろ」

トピックス

制度利用者が欲しい情報が《いつでも・どこでも・簡単に》入手できます。
日野自動車福祉共済基金のホームページからご覧いただけます。
<https://www.hinofukushikyosai.jp/>

スマホ版はこちらから





いがいと知らない

〇〇の話

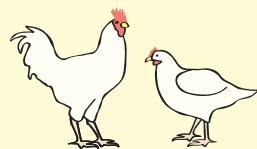
酉の市

酉の市(とりのいち)は、鷲(おおとり)神社や大鳥神社など、鷲(わし)や鳥(酉)にゆかりのある神社仏閣の年中行事として知られます。酉の市は毎年11月の酉の日に行われます。その日には熊手などの縁起物を購入し、今年1年無事に過ごしたことの報告と、翌年の福を願います。



酉の日とは？

十二支の「酉(とり)」にあたる日のことをいいます。現在では「十二支」というと、「子年」「丑年」のように年を指すものと思われていますが、日付にも十二支は振られています。「酉の日」は12日ごとに巡ってくるので、酉の市は11月に2回、または3回行われます。1回目は「一の酉」、2回目は「二の酉」、3回目は「三の酉」といいます。「三の酉までである年は火事が多い」という説があります。諸説ありますが、鶏(とり)は天変地異を知らせると言われていて、酉の日が3回ある時は気を付ける、また11月下旬は空気が乾燥し火を使う機会が増える、など火事への注意喚起の意味があるようです。



酉の市の由来

酉の市の由来には諸説ありますが、大きく3つの説があります。

神道説

日本武尊(やまとたける)が戦いの勝利を願った神社で、戦勝のお礼参りをしたという伝説があります。その際、武具の熊手を立て掛けたのが**11月の酉の日**だったことから酉の市が始まり、熊手が縁起物として扱われるようになったとされています。

仏教説

日蓮宗の日蓮上人が国家平穏を祈ったところ、11月の酉の日に、鷲の背に乗った鷲妙見大菩薩(わしみょうけんたいぼさつ)が現れ、その後**鷲妙見大菩薩の御開帳日**に立った市を酉の市と呼んだと言われています。

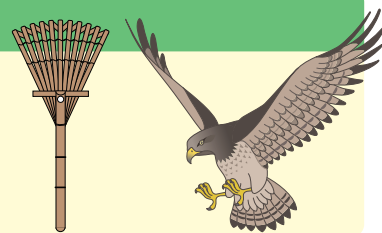
収穫祭説

花又村(現在の足立区花畑)にある大鷲神社で行われていた収穫祭だと言われています。江戸時代、近隣の農民が秋の収穫に感謝して**鷲大明神に鶏を奉納**したのが始まりとされています。



熊手が縁起物になった理由

酉の市では**縁起物**として熊手を購入します。熊手は本来落ち葉などをかき集める道具ですが、「運もかき込める道具」「金銀もかき集められる道具」ということで、次第に縁起物としてみなされるようになりました。やがて縁起が良いとされる**七福神、松竹梅、大判小判**などの飾りが施され、**縁起熊手**として現在に至っています。それ以外にも、鷲が獲物を鷲掴みにする**爪の形**にも似ており「福や運を**鷲掴みする力**がある」ともされ、縁起物になったという説もあります。



豆知識

縁起熊手の買い方・飾り方

●値切って買う？

縁起熊手は値切って買うのが縁起がいいのだそうです。支払いは値切り前の価格で払いますが、おつりは店にご祝儀として渡すのが粋なのだとか。熊手が売れると「家内安全、商売繁盛!」などの掛け声に合わせて、三本締めをします。酉の市ならではの活気あふれる光景です。

●大きさの違いは？

縁起熊手を初めて購入するときは、小さいものを選ぶとよいとされています。毎年少しずつ大きなサイズにしていくほうが商売も大きくなっていくのだそうです。

●どこに飾る？

家や会社の一番奥の高い場所に飾り、玄関に向けて飾ると外から福運をかきこむそうです。古い縁起熊手は酉の市の納め所などに返すか、処分してくれる神社寺社などに納めます。



※掲載の内容は諸説の一部を紹介しております。

(株)全国儀式サービス

企業・団体様の福利厚生制度として葬儀に特化した「葬儀支援サービス」を提供しています。「葬儀支援サービス」とは、万が一の際に、全国共通の葬儀の基本セットを低廉かつ明瞭な金額でご提供し、電話1本で全国の加盟葬儀社をご紹介させていただく制度です。

葬儀のご手配、事前のご相談・お見積もり

(株)全国儀式サービス コールセンター 24時間365日対応

全国儀式サービス

検索



0120-421-493

